石巻市 洪水ハザードマップ

令和７年４月作成

この洪水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨（1000年に一度の大雨）により河川の堤防が決壊した場合を想定した浸水想定区域・浸水深と土砂災害のおそれのある区域等（土砂災害警戒区域・特別警戒区域及び土砂災害調査予定箇所）を掲載しています。

浸水想定区域のシミュレーション条件は、地図面に示しています。なお、支川の氾濫、シミュレーション条件を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫、地震、津波などの複合的な災害が発生した場合を考慮していないため、洪水浸水想定区域に表示されていない区域でも浸水が発生する場合や、想定浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

【出典】

洪水 浸水想定区域	国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所	平成 28 年 6月30日指定	北上川、旧北上川、江合川、新江合川、多田川、鳴瀬川
	宮城県 土木部 河川課	令和４年 3月15日指定	鞍坪川、沖新堀川、真野川、八津川、高木川、日向川、日影川、内の原川、水沼川、富士川、定川
		令和４年 5月31日指定	皿貝川、中島川、馬鞍川、西沢川、大沢川、追波沢川
		令和５年 5月30日指定	古川、追波川、加茂川、挟川、赤柴川、新寺川、竹の迫川、大森川
土砂災害警戒（特別警戒）区域	宮城県 土木部 防災砂防課	令和６年 10 月４日告示まで	
土砂災害調査予定箇所		令和６年５月１日公表	

1.災害に備える

1-1 洪水、土砂災害について

洪 水

大雨などが原因で河川が増水・氾濫し、陸地が水没したり建物などが浸水したりします。

早期立退き避難が必要な区域

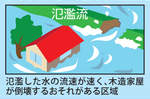
区域内に留まると命に危険が及ぶおそれがあります。浸水が始まる前に浸水想定区域外へ立退き避難しましょう。

想定浸水深3.0m以上の区域

2階以上浸水するおそれがあります。

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの区域で、氾濫流と河岸侵食があります。



氾濫した水の流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域

洪水の際に河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれがある区域

河川の水位情報

下の図表は避難行動や水防活動を判断する目安となる水位です。確認しておきましょう。

河 川 名	江合川		旧北上川			北上川	
観測所名	涌谷	短台	和渕	大森	門脇	柳津	飯野川上流
氾濫危険水位	5.8m	4.9m	6.4m	4.4m	3.8m	12.2m	8.5m
避難判断水位	5.5m	—	6.3m	4.3m	—	12.1m	8.4m
氾濫注意水位	4.2m	3.5m	5.3m	3.6m	3.1m	8.4m	5.5m

※1：一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合　※2：水位上昇により氾濫危険水位を超え、さらに水位上昇が見込まれる場合

土 砂 災 害

がけ崩れ

雨で地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が急に崩れ落ちること

このような前兆がおこったら急いで避難！

- ●がけから小石がパラパラと落ちてくる
- ●がけに亀裂がある
- ●がけから急に水が湧いてくる

土石流

急な谷川を水を含んだ大量の土砂などが激しい勢いで流れること

このような前兆がおこったら急いで避難！

- ●山鳴りや、立ち木が裂ける音がする
- ●川が濁ったり、流木が混じる
- ●雨が降り続いているにもかかわらず、川の水位が急激に下がる

地すべり

斜面が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のこと

このような前兆がおこったら急いで避難！

- ●地面にひび割れができている
- ●冷や井戸の水が急に減ったり、濁ったりする
- ●地面の一部が陥没したり、隆起している

※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないため注意してください。

土砂災害（特別）警戒区域	土砂災害が発生した場合、生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域です。その中で、土砂災害特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ、生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。
土砂災害調査予定箇所	詳細な地形図を用いて新たに抽出された土砂災害発生のおそれがある箇所です。今後、詳細な調査により土砂災害警戒区域等に指定される場合があります。現在土砂災害警戒区域等に指定されている区域と同様に注意しましょう。

1-2 家族で防災に取り組みましょう

❶ 避難について話し合いましょう

ステップ1 自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。

氾濫した場合の、浸水の状況を確認しましょう。ご自宅のある場所が何色に塗られているか洪水ハザードマップで確認しましょう。

ステップ2 自宅周辺の避難場所を確認しましょう。

災害種別毎に利用できる避難場所を地図で確認しましょう。

ステップ3 避難経路と避難経路上の災害リスクを確認しましょう。

洪水ハザードマップを見て、避難場所までの経路を確認しましょう。また、避難経路上に災害リスクかないか確認しましょう。

ステップ4 避難場所までの経路を実際に歩いて確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合は、避難経路を見直しましょう。

ステップ5 確認した結果をもとにマイハザードマップを作成しましょう。

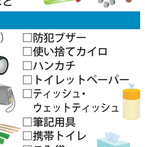
確認した結果をハザードマップに反映し、マイハザードマップを作りましょう。また、避難に必要な時間を考慮し、わが家のタイムラインも作ってみましょう。

❷ 非常持出品・非常用備蓄品を準備しておきましょう

非常持出品 避難の際に持ち出すもの！

貴重品
- □現金　□預金通帳
- □印鑑　□身分証明書
- □マイナンバーカード　など

小物道具類
- □懐中電灯（予備電池・電球）
- □携帯ラジオ
- □充電器
- □予備電池
- □補聴器
- □敷物
- □箸・フォーク
- □栓抜き・缶切り
- □大小ビニール袋
- □ひも・粘着テープ
- □防犯ブザー
- □使い捨てカイロ
- □ハンカチ
- □トイレットペーパー
- □ティッシュ・ウェットティッシュ
- □筆記用具
- □携帯トイレ
- □ごみ袋
- □雨具　など



衣類（季節に合わせて）など
- □上着・下着　□帽子　□上履き　など
- □靴下　□セーター・レインウェア
- □手袋・軍手　□ひざかけ

水・食料品（3日分程度）
- □飲料水
- □各種食品（缶詰・カップ類などの保存食）
- □子どものおやつ　など

洗面用品
- □石けん　□歯磨き用品　□タオル　など

赤ちゃん用品
- □粉ミルク　□離乳食　□抱っこひも
- □ほ乳びん　□携帯用スプーン・フォーク　□子どもの靴
- □おむつ類　□母子手帳　など
- □流動食　□おしり拭き

医療品
- □常備薬　□包帯　□生理用品
- □消毒液　□持病薬　□お薬手帳
- □マスク　□処方箋　□入歯・入れ歯洗浄剤　など

ペット用品
- □ペットフード　□キャリーバッグ　□水　□リード
- □おやつ　□ペットシーツ　など

非常用備蓄品 本当に使うものも！
- □食料や水（できれば１週間以上）× 家族分
  保存期間の長いものを多めに買っておき、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能！
- □カセットコンロ
- □予備電池　など
- □生活用品
  例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ箱、ポリタンク、携帯トイレ など

※あくまでも一例のため、個々の状況に合わせて必要なものをご用意ください。
また、定期的に中身の点検、入れ替えを行いましょう。

1-3 地域で防災に取り組みましょう

❶ 自主防災組織

大規模災害時には、行政による災害対応にも限界があります。自主防災組織とは、町内会や行政区などを母体とし、自助・共助の精神で防災活動を行う組織です。お住まいの地域で積極的に活動に参加し、地域で防災に取り組みましょう。

❷ 地区防災計画の策定について

地区防災計画とは、一定の地域にお住いの皆さまが、自分たちの地域の人命、財産を守るための助け合い（共助）について、自発的な防災活動を行うための計画です。地域の方々と、防災について一緒に考え、対策をとっておくと、地域全体での防災力も高まり、地域の絆も深まります。市では、地域の要望に応じた出前講座等を通じて、地区防災計画策定の支援を行っています。

災害は毎年のように全国各地で発生しています。 ➡ 地区防災計画を活用して、いざというときに地域コミュニティごとに効果的な防災活動を実施できるようにすることが重要です。

❸ 防災ネットワーク

市では、避難行動要支援者の支援体制づくりに協力いただける町内会や自主防災組織、行政区を「防災ネットワーク」として登録し、支援体制づくりを推進しています。

❹ 防災訓練に参加しましょう。

市では、総合防災訓練をはじめ、自主防災組織が主体の訓練を行う体制づくりを推進しております。地域の訓練に参加し災害に備えましょう。

知っておこう !! 安否確認できる方法

「災害用伝言ダイヤル・伝言板」

災害用伝言ダイヤル171 体験利用提供日
- ●毎月１日、15 日 00:00 ～ 24:00
- ●正月三が日（1 月 1 日 00:00 ～ 1 月 3 日 24:00）
- ●防災週間（8 月 30 日 9:00 ～ 9 月 5 日 17:00）
- ●防災とボランティア週間（1 月 15 日 9:00 ～ 1 月 21 日 17:00）

安否確認方法　災害用伝言ダイヤル171 は、大規模な災害が発生した時の「声の伝言板」です。伝言の録音・再生は、一般電話、公衆電話、携帯電話・PHS（一部通信事業者を除く）から行えます。

171番にダイヤル

伝言を録音する場合：1 → （○○○）□□□□-□□□□ → 伝言を吹き込む
（被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の人は被災地の人の電話番号を市外局番から入力）

伝言を再生する場合：2 → （○○○）□□□□-□□□□ → 伝言を聞く
（被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の人は被災地の人の電話番号を市外局番から入力）

インターネットでも登録・確認できます　https://www.web171.jp にアクセスしてください。

わが家のタイムラインを作成しましょう

タイムラインとは、災害が予想される場合の避難の準備や避難行動方法などを記した避難計画です。

いざというときに、必要な情報に基づいてあわてずに避難ができるよう、とるべき行動を家族で話し合い、わが家のタイムラインを作成しておきましょう。

警戒レベルとは？…災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解して的確な避難行動をとるための情報です。

避難情報等	防災気象情報※1（警戒レベル相当情報）	とるべき行動［いつ？］［誰が？］［何をする？］
警戒レベル１ 早期注意情報（警報級の可能性がある場合に 気象庁 が 発表）	・早期注意情報 中 ／ 高	□ □ □
警戒レベル２ 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表） ［災害へ備える場面］	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報 ・高潮注意報 ・キキクル「注意」 【キキクル】=危険度分布 ①土砂キキクル ②浸水キキクル ③洪水キキクル	□ □ □ □ □
警戒レベル３ 高齢者等避難（市が発令）	・大雨警報（土砂災害） ・洪水警報 ・氾濫警戒情報 ・高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い） ・キキクル「警戒」 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル３「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。 高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主避難するタイミングです。	□ □ □ □ □ □ □
警戒レベル４ 避難指示（市が発令）	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報 ・高潮特別警報 ・高潮警報 ・キキクル「危険」	□ □ □
ここまでに全員が避難完了		
警戒レベル５ 緊急安全確保（市が発令） ※必ず発令するとは限りません。	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報 ・キキクル「災害切迫」 警戒レベル５は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル５「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません！	□ □ □

※１ 防災気象情報などの表記については、現在、気象庁及び国土交通省で見直しを実施中であり、今後更新が予定されています。

総務部危機対策課　TEL 0225-95-1111

2.大雨時の取るべき行動

2-1 大雨時に発表される防災情報

大雨が予想され、災害のおそれがある場合、国や県、石巻市から様々な防災情報が発表されます。大雨時には、自ら情報を収集し避難行動を行いましょう。

避難情報	高齢者等避難	警戒レベル3が発令された段階です。避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは危険な場所から安全な場所へ避難しましょう。
	避難指示	警戒レベル4が発令された段階です。対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難してください。
	緊急安全確保	警戒レベル5が発令された段階です。直ちに安全な場所で命を守る行動をとってください。
河川の水位情報	避難判断水位	「警戒レベル3高齢者等避難」の避難情報が発令される目安となる水位です。
	氾濫危険水位	河川が氾濫するおそれのある水位で、避難を開始する水位です。
土砂災害警戒情報		降雨による土砂災害の危険性が高まったときに、宮城県と仙台管区気象台が共同で発表する防災情報です。
記録的短時間大雨情報		数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したときに、発表される情報です。
顕著な大雨に関する気象情報（線状降水帯）		顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は、警戒レベル相当情報を補足する情報で「警戒レベル４避難指示」相当以上の状況で発表されます。
大雨特別警報		台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表される情報です。 発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、「警戒レベル５緊急安全確保」に相当します。

防災情報の警戒レベルについて

警戒レベル	注意報・警報等（相当情報）	避難情報
警戒レベル１	早期注意情報	
警戒レベル２	大雨注意報・洪水注意報	
警戒レベル３	大雨警報・洪水警報	高齢者等避難
警戒レベル４	土砂災害警戒情報	避難指示
警戒レベル５	大雨特別警報	緊急安全確保

市の避難場所、避難所について

市では避難施設として、避難場所、避難所を設定していますが、災害の状況によって利用できない施設があります。市が指定している避難施設以外の避難先として、**安全な親戚・知人宅、宿泊施設**もあらかじめ確認しておきましょう。

種　類	説　明		
避難場所	災害から命を守るため一時的に避難する場所です。		
	裏面の使い分け	000 洪水時利用可	浸水想定区域外にあり、洪水時利用可能です。
		000 階層によって使用可（一覧表参照）	低い階層は浸水するため、使用できません。
		000 洪水時利用不可	建物全体が浸水するため、洪水時は利用できません。津波避難時のみ利用可能な津波避難ビル等を含みます。
避 難 所	自宅が被害を受け、住めなくなった場合に避難生活をする施設です。		

安全な親戚、知人宅への避難

安全な宿泊施設への避難

2-2 避難時の心得

避難は自主判断で！
気象情報や避難情報などの防災情報をもとに、早めの避難を心がけましょう。

避難するときは、動きやすい格好で。
2人以上での避難を心がけましょう。

お年寄りや子ども、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。

高齢者等避難や避難指示は、危険が迫ったときに出されますので、速やかに避難しましょう。

夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。

避難場所が近くにないときは、近所の丈夫な建物の上の階へ一時的に避難しましょう。

【 防災情報の入手 】

石巻市ホームページ
https://www.city.ishinomaki.lg.jp/bousai/index.html
災害時には、トップページにおいて、災害に関する緊急情報をお知らせします。

石巻市災害メール
https://www.city.ishinomaki.lg.jp/bousai/020/6851/6851.html
「t-ishinomaki@sg-p.jp」に空メールを送信、登録すると気象情報・災害情報等を受信することができます。

石巻市 LINE 公式アカウント
https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10151000/1010/is_line.html
災害時には、災害に関する緊急情報をお知らせします。
石巻市（@isbousai2019）

石巻市防災電話・防災 FAX
https://www.city.ishinomaki.lg.jp/bousai/020/6851/6851.html
自動音声や FAX にて気象情報・災害情報等を配信するサービスです。

石巻市 SNS
https://x.com/IshiSaigai　https://www.facebook.com/IshiSaigai
Facebook
災害時には、災害に関する緊急情報をお知らせします。

Yahoo! 防災速報
https://www.city.ishinomaki.lg.jp/bousai/020/n030/20201016.html
アプリを活用した緊急地震速報や避難情報等をお知らせするサービスです。

国土交通省「川の防災情報」
https://www.river.go.jp/index
河川の水位や降雨の情報など、水災害に関する様々な情報を確認できます。

気象庁「キキクル」
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/
大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。

宮城県防災情報ポータル
https://miyagi-bousai.my.salesforce-sites.com/
防災気象情報や県内の発令する避難に関する情報を一覧できます。

宮城県土木部総合情報システム
https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen30Servlet
風水害等の自然災害における気象等の防災情報を迅速かつ的確に収集できるシステムです。

テレビ
NHKの地上デジタル放送では、リモコンのdボタンを押すと、警報や避難情報、避難所の開設情報や、河川水量・雨量などを確認することができます。

ホームページ版ハザードマップについて

石巻市

市のホームページでハザードマップの情報を公開しています。ホームページ上で、チェックボタンにより情報の表示、非表示を切り替えることができます。

また自由に表示範囲を切り替えることができ、例えば自宅周辺の詳しい情報を確認したり、自宅を中心としたマイハザードマップ（A4判）を作成することができます。

https://www2.wagmap.jp/ishinomaki/Portal

国土交通省

災害リスク情報や防災に役立つ情報を、全国どこでも重ねて閲覧できるハザードマップを公開しています。

重ねるハザードマップ　https://disaportal.gsi.go.jp
音声読み上げソフトに対応し、住所入力や現在地検索などから、その地点の災害リスクなどを音声で伝えてくれます。